

令和2年度（2020年度）第10回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：令和2年（2020年）12月14日（月）10時00分～11時00分

場 所：熊本県立大学大会議室

出 席：学長	半藤 英明
副学長	堤 裕昭
事務局長	斉藤 浩幸
文学部長	鈴木 元
環境共生学部長	石橋 康弘
総合管理学部長	澤田 道夫
文学研究科長	虹林 慶（リモート参加）
地域連携政策センター長	丸山 泰（リモート参加）
学術情報メディアセンター長	北原 昭男（リモート参加）
国際教育交流センター長	レイヴィン・リチャード（リモート参加）
学校法人 九州ルーテル学院長	内村 公春
株式会社 熊本日日新聞社 調査役	松下 純一郎
熊本県公立高等学校長会長	越猪 浩樹

監 事：公認会計士・税理士	河喜多 保典
弁護士	本田 悟士

事務局：手島事務局次長、丸山総務課長、松永企画調整室長、三隅教務入試課長、佐藤教務入試課入試班長、尾方教務入試課教務班長

1 開会

2 学長挨拶

3 議事

(1) 審議事項

① 教員の採用に係る枠取りについて

1) 日本近世文学

文学部長から資料1-1に基づき「昨年度同様に枠取りをしたが、適当な人員がいなかったため見送り、今年度は職位をさらに教授、助教まで幅を広げ、優秀な人材を採用したい。」と説明があった。

2) 家庭科教育・調理科学（食育推進室）

環境共生学部長から資料1-2に基づき「環境共生学部において家庭科教育に関し、伝統的に免許取得者を輩出し、研究科では専修家庭科免許課程も有しているが、今年度は非常勤講師で対応している。また、管理栄養士養成施設として調理におけ

るスキル修得のための専門の教員の配置が望まれる。加えて、食育推進室の特任講師が任期満了となるため、常勤教員として、上記の要件を満たす教育・研究実績あるいは実務経験を有する教員の枠取りを行う。なお、職位は中学あるいは高校の一種免許状を有する者であるため、准教授又は講師とする。」と説明があった。

3) 産業組織論

総合管理学部長から資料1-3に基づき、「総合管理学部において、カリキュラム変更を検討しており、新規開講科目となる産業組織論、ビジネス・データ分析について、教員の枠取りを行うもの。これらの分野は急激に再編が進んでいる一方、学生の関心が高まっており、情報通信技術のみならず、今後、地域の産業支援についてデータ分析を用いて市町村連携できる知見をもつ方であり、実務者が応募されることも想定している。」と説明があった。

4) 福祉政策論

同じく総合管理学部長から資料1-4に基づき、「総合管理学部において、転出者補充のため、福祉政策論について、教授、准教授の職位の方の枠取りを行うもの。この分野は少子高齢化が進む中、行政からの福祉政策を考える上でニーズが高い。行政との連携した経験があると望ましいなどの要件を付している。」と説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 令和3年度(2020年度)特別選抜における合格者決定について

事務局教務入試課から、資料2-1に基づき、「特別選抜として推薦入試ほかの試験を実施し、各学部の教授会で合否の判定を行ったので、御審議をお願いする。試験は12月6日に実施し、推薦入試には、73名の募集に対して126名の志願者があった。農業・林業・水産科推薦入試には、若干名の募集に対して3名の志願者があった。くまもと夢実現推薦入試には、2名の募集に対して1名の志願者があった。社会人入試には、若干名の募集に対して文学部、環境共生学部にそれぞれ1名の志願者があった。帰国子女入試には、若干名の募集に対して志願者がなかった。合格発表は本日午後1時30分を予定している。」との説明があった。

1) 学校推薦型選抜

文学部長から、「日本語日本文学科は、募集人員5名に対し、志願者10名。小論文と面接を実施。上位5名を合格としたい。英語英米文学科は、募集人員7名に対し、志願者9名。小論文と面接を実施。上位7名を合格としたい。」との説明があった。

環境共生学部長から、「環境資源学専攻は、募集人員3名に対し、志願者4名。

小論文と面接を実施。上位3名を合格としたい。居住環境学専攻は、募集人員4名に対し、志願者8名。小論文と面接を実施。上位5名を合格としたい。なお、4位5位は同点。食健康環境学専攻は、募集人員4名に対し、志願者21名。小論文と面接を実施。上位4名を合格としたい。」との説明があった。

総合管理学部長から、「総合管理学科は、募集人員50名に対し、志願者74名。総合問題と面接を実施。上位51名を合格としたい。なお、50位と51位は同点」との説明があった。

2) 農業・林業・水産科学校推薦型選抜

環境共生学部長から「募集人員2名以内に対し、志願者3名。試験の結果、3名とも素晴らしい方だったが、厳格に上位2名を合格としたい。」との説明があった。

3) “くまもと夢実現”推薦選抜

副学長から「募集人員2名以内に対し、志願者1名。試験の結果、合格基準に達しており合格としたい。」との説明があった。

4) 社会人選抜

文学部長から、「英語英米文学科について若干名の募集に対し、志願者が1名。筆記と面接を実施。十分な成績に達しておらず不合格としたい。」との説明があった。

環境共生学部長から、「食健康環境学専攻について若干名の募集に対し、志願者が1名。筆記と面接を実施。十分な成績に達しておらず不合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 熊本県立大学名誉フェロー称号制度の創設について

企画調整室長から資料3に基づき「本学に在学又は勤務された方など、本学の運営及び経営に顕著な貢献があった方や政治、経済、芸術、文化、スポーツ界などの各界において顕著な功績があった方に、名誉フェローの称号を授与し、称えることを目的とした制度を創設するもの。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

④ 共通教育センターの設置について

副学長から資料4に基づき「現在の全学教育推進センターの機能等を見直し、新たに共通教育センターを設置することとなった。主な機能、役割としては現在開講

している『共通科目群』の各科目について意義を有し、魅力あるカリキュラムに改訂し、実現していくもの。」と説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

4 その他

次回日程 令和2年度（2020年度）第11回 12月21日（月）
午後2時40分～ 本部棟2階 大会議室

5 閉会